

令和5年度 愛媛県立野村高等学校 第二学期始業式式辞

皆さん、おはようございます。長い夏休みが終わり、今日から第二学期が始まります。一学期の終業式で、私は皆さんに「前向きな気持ち、感謝、客観的な状況分析の三つは、皆さんが勉強をする場合でも、部活動をする場合でも強く意識してほしい大切な言葉です。」と伝えました。私は、生徒の皆さんがこの3つの言葉を胸に中味の詰まった夏休みを過ごしてくれたものと信じていますが、万が一怠けてしまったという人も大丈夫です。今日から新学期が始まります。気持ちを切り替えて、これからの毎日を全力で過ごしていきましょう。

さて、フィギュアスケートの羽生結弦さんが自身の公式 SNS で結婚を発表したというニュースが、先日世界中を駆け巡りましたが、彼が結婚を発表した8月4日は、聞けば「一粒万倍日」という縁起のよい日だったらしいですね、一粒万倍日とは、一粒のお米の種が一本の苗になり、その苗から一千粒のお米がとれるようになることから、何かを始めるのに最適な日と言われているそうです。これから始まる二学期には、大きな行事がたくさんあります。体育祭、修学旅行、高校祭など本当に盛りだくさんです。皆さんにとって二学期はそれはそれは楽しく思い出深い日々になることは間違いないのですが、同時に多くの人は何らかの試練も経験することになるはずで、物事が計画通りにいかない、仲間と意見が食い違う、そんな時には、私がいつもお話している「学び合う心、支え合う心、高め合う心」を持って、クラスや学年を越えて助け合ってみてください。人間はうまくいっている時より、うまくいかない時にこそ、固い絆を築くことができるものです。二学期のさまざまな学校行事が、皆さんにとって一粒のお米から千粒のお米がとれる「一粒万倍日」となることを心から願っています。

それから、私はよく「困難なことがあったとしても、仲間と協力してその壁を乗り越えろ」と言っていますが、時には、何をやってもうまくいかず、自分は世界一不幸な人間だと感じる事が誰にでもあると思います。もちろん、私にもそういう時がよくあります。この夏休みには、私にとってうれしいこともたくさんありましたが、一方で、苦しく悲しいこともいくつかありました。心が沈んでしまった時に大切なのは、気分転換、言い換えれば精神のセルフコントロールだと私は思っています。例えば、私は部屋を片付けて気持ちをすっきりさせたり、趣味の一つであるバイクに20年ぶりに乗って気持ちをリフレッシュさせたりして、自分の心を明るい方に持っていくように心掛けました。バイクで海辺の道を通って潮風の香りを嗅いだり、山道を通って樹木のトンネルや峠道の風を感じたりすることで、私は自分の心を解放し、気持ちを楽にすることができました。皆さんは、自分の心を勇気付けるためにどんなことをしていますか。一人一人、リフレッシュの方法は違うと思うので、自分を元気にする一番の方法を見つけてみてください。

二学期のさまざまな行事や学習活動に積極的に取り組む日々が一粒万倍日となり、ずんずん成長していく皆さんの姿が見られることを、とても楽しみにしています。ますます元気な野村高校となるよう、生徒の皆さんと私たち教職員で力を合わせて頑張りましょう。以上で、二学期始業式の挨拶を終わります。